



ECLIPSE 2 取扱説明書 日本語訳版



HONEST

日本正規輸入代理店
オネスト

はじめに 安全についてのご注意

この度はSchumacher社製1/12レーシングカーECLIPSE2をご購入
いただき 誠にありがとうございます。

このECLIPSE 2 は

- ・ 14歳以上の方が対象年齢となっています。14歳以下のお子様には大人の方が付いてあげて下さい。
- ・ 小さなパーツを含みます。小さいお子様が手を触れないようにして下さい。また、小さなお子様の手の届かないところで組み立てて下さい。
- ・ 組み立ての際やご使用の際には、取扱説明書の注意書きをよく読んで下さい。
- ・ 不慣れな方は、車が正しく組み上がるよう、また車の性能が正しく発揮されるよう、経験のある方にアドバイスを受けましょう。
- ・ 工具やとがった部品がありますので使うときは十分注意して下さい。
- ・ 使用直後はバッテリー、モーター、ESCなどは高温になっていますので手を触れないようにして下さい。

走行までに別途ご用意頂くもの

下記については、このキットには付属していません。別途ご用意下さい。

- ・ 送受信機
- ・ リポバッテリー(1S)
- ・ モーターピニオン
- ・ モーター
- ・ サーボ
- ・ スピードコントローラー
- ・ ボディ

～次ページより取扱説明が始まります。～

(Page ○) (Step○ ○)

で示す数字やアルファベットは、シューマッカー社作成の取扱説明書のページ数や、作業工程とリンクさせています。図と照らし合わせてお読み下さい。

・ 英文での説明が無い作業工程や、わかりやすいイラストが付いている場合は日本語説明は省いております。

・ その他シュー社の取説に記載が無くとも、ご注意頂きたいことや、セッティング上のアドバイスなどは本紙で補足説明しております。

(Page 7)

(Step 6 A)

リンクを付けた後でM3×6スクリューを締めます。

ナットの締め具合は3.5mmほど頭を残して シャーシに並行に。

(Page 9)

(Step 7 A)

付属のシリコンオイル12000番をピストン全体に塗布しダンパーチューブに入れ込んで下さい。余分なオイル分はぬぐいましょう。

イモネジが入れにくい場合は、ピストンが傷つかないようにクロスで巻き、プライヤーでつかんで下さい。

2つ全てのダンパーチューブを同じように組み上げます。両端が小さいソケット、真ん中のダンパーには長いソケットです。

(Page 10)

(Step 8)

キングピンとフロントビームがしっかりはまっているか確認して下さい。

(Step 9)

編集上削除されました。

(Step 10)

2つとも同じように組みます。

(Page 11)

(Step 12)

ドループ調整のために黒色のスペーサーを使います。

(Page 13)

(Step 15)

ディスクスプリングとスラストワッシャーの組み方に注意。

(Step 16) デフセッティング

デフが作動するまで極めて少しずつナットを締めていきます。
それからナットは360°以上締めて下さい。
このセットの仕方が、ほとんどのコース状況によいと思われれます。

(Page 14)

(Step 17)

キット標準0.25エキセントリックと43.0mmリヤタイヤで、3.5mm車高が得られます。

アクスルスパーサーは、リヤ車幅の調整に必要となる場合があります。

図のスクリューを締めた後は、ほんの少しエンドフロートを残してアクスルが自由に回るよう確認して下さい。

(Step 18 A)

図のサーボセイバーの2つに穴は、少し広げた方が組みやすくなります。

サーボをニュートラル位置にしてサーボセイバーを取り付けます。

図では、シューマッカー/CORE RC製 CR194サーボを使っています。

(Page 15)

(Step 18 B)

ここではサーボの位置は確定していなくても構いません。

(Step 19A)

ターンバックルのねじ切り方向についてご注意下さい。

ソケットをターンバックルのねじ切り部分が見えなくなるまで締めていき、それから必要な長さにまでゆるめます。車のセットがしやすくなります。
(グリスを付けるとより扱いやすくなります)

(Page 16)

(Step 19 B)

サーボスクリューでサーボ位置を調整します。
アライメントを確認するため、アクスルをみて下さい。
ホイールをはめた後のほうが調整しやすいかもしれません。

(Page 21)

(Step 21)

バンパーフォームの図で指すフロントの角部分は、ボディ位置にもよりますが、ボディクリアランスを確保するために削った方が良い場合もあります。

一方、図のようにバンパーリヤの部分は、三角形に切り取ります。

(Page 22)

(Step 22)

ボディポストは、空力と見栄えのために削ることもあります。ボディポストに、ピンを押し込み、お使いのボディに合う位置へボディワッシャーを装着します。穴1つごとに1.2mmずつ変わります。ローからハイまで3種類から位置を選べます。

それからボディクリップで留め、ピンでまっすぐに固定します。

(Page 25)

(Step 23 C)

バッテリーの正しい搭載方法 図をご覧ください。

Oリング以外にも厚さ5mmのフォームを置いてOリングを留める方法もあります。

(Page 26)

(Step 24)

図中、車幅を調整するシムが描かれていますが、キット標準ではシムは0枚と設定しています。お好みに合わせて増減して下さい。

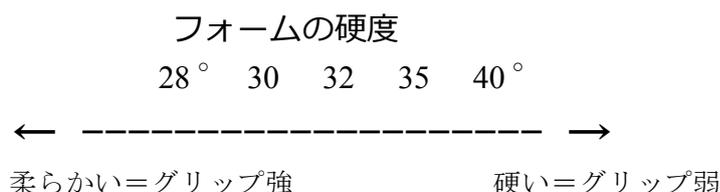
ホイールナットは、ほんの少しエンドフロートを残すよう調整します。ホイールがスムーズに回るか確認して下さい。

セッティングガイド

最初はマニュアル通りに組み上げ、トラック環境やお好みに合わせて徐々に調整されることをお勧めします。

(Page 27)

(タイヤ)



より曲がるセットにしたい場合はフロントタイヤは柔らかめを選びます。グリップが高い路面では硬めのタイヤを使用するといいでしょう。それほどグリップが高くないコース、又はタイヤが硬すぎる場合、車が滑ってコーナーをうまく曲がれません。

- 43mmリヤ、41.5mmフロントがお勧めのタイヤサイズです。
- 滑りすぎるようであれば、グリップ剤をうすくフロントタイヤ外側へりに塗布します。

(リヤ車高)

車高調整にエキセントリックを使います。3.5mmほど調整できます。図を参考にして下さい。

(ギヤレシオ)

ギヤ比は表をご覧ください。最小 = 107T、最大 = 126T

大きな歯数のピニオンは、より速いトップスピードをもたらします。'オーバーギア'にはお気を付け下さい。オーバーヒートの原因となる場合があります、スピードコントローラーやモーターにダメージが及んでしまいます。小さいピニオンから始めて下さい。

リヤタイヤの直径もギヤ比に関わってきます。より正確にギヤ比を計るには タイヤ径も計算に入れた'mm/rev'方法があります。43mm径のタイヤの場合で計算例が出ていますので参考になさって下さい。

(フロント車高とキャスター)

タイヤサイズ、車高、キャスター角、スペーサーA/B の早見表が図と共に
出ていますのでご覧下さい。

- キャスター角を増やすと、少し操縦がシビアになりますが、ステアリン
の反応が良くなります。

- キャスター角を減らすとステアリングはだるくなりますが、車は扱いやす
くなります。トラクションロールが問題のときにも良い解決法となり得ます。

Note: 表中車高 (Ride height) は、ハブ下に3枚のキングピンスペーサー
を入れている状態です。キングピンシムでちょうど良い車高を調整しましょう。

フロントスプリング (ゴールド・シルバー・ブラック) も車高に少し影響を
与えます。

(キャンバー)

ネガティブキャンバー角を増やすと、車のステアリングは良くなります。
ラップタイムが期待できますが、少し扱いづらくなる場合もあります。

トラクションロールに問題があるときはネガティブキャンバーを減らすと
良いでしょう。

キャンバー角は、キャンバーストラップで変えることが出来ます。

型番 U7479=キット標準 0.75° に対し、

U7480=スピードシークレット (オプションパーツ) 1.5° がございます。

(フロントトー)

フロントホイールは、車と並行に もしくは少しトーアウト気味に (1°まで)
するのがお勧めです。

トーアウトは、初期のステアリングをより良くしますが、レスポンスが敏感
になることによって、ストレート走行時の扱いが難しくなる場合があります。

(Page 28)

(センターピボット長さ)

センターピボット長さが選べます。図でそれぞれ確認して下さい。

ーフロントホール=ショートピボット

少し安定性には欠けますがコーナーでの転がりが良くなります。

ーリヤホール=ロングピボット

少しステアリングが悪くなりますが車がスムーズに動きます。

note: ロングピボットでかつ リポバッテリーをリヤ側に搭載する場合は、リポのクリアランスの確保のために ピボットマウントの取付けを、前側の穴する必要があります。その他の方法としては、初代エクリプスのピボットマウント (型番 U4955) を使用する手もあります。

(Page 29)

(車幅)

フロント

フロントのトラック幅が大きい方が車はドライブしやすくなります。ステアリングは少し鈍く、レスポンスも少し緩慢になります。

逆に狭く調節すると、ステアリングもレスポンスも非常に良くなるため、扱いが難しくなります。

リヤ

リヤトラック幅を広くすると、グリップが良くなり車が扱いやすくなります。狭くすると、ステアリングやコーナーでのスピードが向上しますが、その分扱いは難しくなります。

キットリヤの幅には2mmと0.5mmのスペーサーは付いています。調整するときは左右同じにして下さい。

(リヤセンタースプリング)

このスプリングは、ポッドアングルの調整に使います。車が平らな状態でポッドがまっすぐ水平になるようスプリングテンションを調整します。これでゼロアンチスクワット又はプロスクワットとなります。

-ハードなセッティング→初期のステアリングが向上

-ソフトなセッティング→コーナー中間でのステアリングがよりアグレッシブに、凸凹でのハンドリングが改善される

(Page 29)

(アンチスクワット)

リヤセンタースプリングを締めすぎるとポッドは水平を保てなくなります。水平を越えて角度が落ちてしまうのがアンチスクワットです。逆に水平時からスクリューを緩めると角度は前方へ傾きます。これがプロスクワットの状態です。通常アンチスクワットはよく使われますが、プロスクワットはあまり使われません。

(リヤドループ)

リヤドループは、車のハンドリングのバランスを調整します。

- ドループが少ない→走行性がよくなる
- ドループが多い→コーナーでの転がり犠牲になるが、凸凹でのハンドリングを改善し、扱いやすくなる。

1mmのドループスクリューから始めることをお勧めします。

(Page 30)

(ロールスプリング)

ロールスプリングは、車のステアリングバランスをコントロールするためのものです。柔らかめのスプリングですと、ドライビングがよりイージーになり、かためですと、ステアリングは良くなります。

標準のセットとは、車が静止している状態において、ポッドプレートに干渉していて、かつロールスプリングが圧縮されていないこととなります。スプリングを締めていくと、ステアリングが良くなり、緩めていくと車は扱いやすくなります。

ここのスクリューで車の微調整ができます。不均一なセットにならないよう気をつけなければなりません。

(フロントスプリング)

柔らかいスプリングは、凸凹の走破性が良くなり、トラクションが増え、車のロールが多くなります。硬めのスプリングは、車の反応も良くなり、ハイグリップ路面により向いているといえます。

(リヤロールダンピング)

通常ハイトラクションの路面状況では、ロールダンピング用オイルは、柔らかいオイルを使う方がいいでしょう。ロートラクション路面では硬めにします。

硬めのオイルを塗るとリヤへの重量の伝わりがスローになり、車が扱いやすくなります。バンピーなコースにも有効です。

7000～20000番くらいがお勧めです。

(リヤバンプダンピング)

これもリヤロールダンピングオイルと同じです。

お勧めは15000～50,000番くらいの範囲です。

(フロントダンピング)

フロントダンピングは、路面のグリップレベルに合わせた車の調整ができます。リヤダンピングと同じく、ハイグリップ路面では粘性度の高いオイルを選びます。レスポンスが少し鈍くなり扱いやすくなります。硬すぎるオイルはレイジーな感覚になりコーナースピードが不足します。使用可能な粘度範囲は12000～40000番から初めて見ましょう。

シューマッカー社および輸入代理店オネストは、お客様の商品組み立て・保管・使用時のいかなるけがにも責任を負うことは出来ません。
説明書をよくお読みになって正しくご使用下さい。

商品の保証については、改造していない車・パーツにのみ適応されます。
走行時のクラッシュ、間違った組み方・使い方・調整の仕方や、メンテナンス不足などお客様側に起因するクレームには応じかねます。

シューマッカー社は素材の選択から設計に至るまでその品質に注力しておりますが、この商品は玩具ではなく繊細なハイパフォーマンスモデルですので慎重に扱って下さい。

舗装路専用車ですので、舗装路・専用コース以外ではお使いにならないで下さい。

エンジンやパーツなど消耗品の定期的な交換や必要なメンテナンスについてはお客様の責任においてしっかり行って下さい。

品質向上のため、商品のディテールが予告なく仕様変更される場合がありますがご了承下さい。

この商品の初期不良などに関するご質問は、お買い求めになったお店か、下記輸入代理店までお申し出下さい。

お問い合わせ先：Schumacher社製品 日本正規輸入代理店 オネスト

オネスト 〒522-0201 滋賀県彦根市高宮町2098-4

電話： 0749-22-3747

ファックス： 050-3664-4608

メール： info@teamhonest.jp

ホームページ： teamhonest.jp/

*** 営業時間：平日9:30～18:30**

お電話は18時までにお願ひします。